

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～令和3年度～

注) 資料内の「※中止」の記載は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった取組です。

全体会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・市の計画について
 - 「第3次障がい者福祉計画について」(平成26年度～)
 - 「第5期廿日市市障がい福祉計画について」(平成29年度)
 - 「第6期廿日市市障がい福祉計画について」(令和2年度)
- ・研修
 - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
 - 「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
 - 「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
 - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」(平成29年度)
 - 「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
 - 「広島市における医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置状況について」(平成30年度)
 - 「発達障がいってどんなもの？～疑似体験をしてみましょう～」(平成30年度)
 - 「防災(出前トーク)」(令和元年度)
 - 「総社市地域自立支援協議会の取り組みと総社市における引きこもり支援について」(令和元年度)
 - 「NPO法人ほっと吉和の取組について」(令和2年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ステージ発表(平成24年度～)
- ・事業所・団体紹介(平成27年度～)
- ・事業所製品の販売・展示(平成27年度～)

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約260団体・機関)

【令和3年度 取組計画】

- ①令和2年度相談支援実績報告
- ②はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示(※中止)
- ④研修会
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和3年度 取組報告】

令和3年度の全体会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間を短縮しオンラインと現地に分かれた分散開催としました。

7月の全体会では、令和2年度の取組と令和3年度の取組計画について各部会代表者から報告し、その後、「広島市における災害時の障がい者支援と取組」(講師：社会福祉法人三矢会障害者相談支援事業所リガーレ 一丸善樹さん)というテーマで研修を行いました。

2月の全体会は、福祉就労ワーキングとこども部会によるピックアップ部会の報告、研修はこれまで何度か福祉ねっとでご講演いただいている又村あいさん(全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長)に「ウィズコロナと障害児者の暮らし」というテーマでお話をいただきました。



(全体会の様子)



部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和3年度 取組計画】

- ①年間4回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【令和3年度 取組報告】

年4回の会議(5月20日、6月17日、11月25日、2月3日)を開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会等の福祉ねっとの取組全般に関わる内容や、部会・ワーキングの枠を超えた共催企画等について協議しました。



会議の様子(部会代表者会議・計画推進会議)

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和3年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議

【令和3年度 取組報告】

年2回の会議では「第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画」に関する市の進捗状況や、各部会での取組、地域課題等の共有を行いました。今年度からスタートの「第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画」策定を期に、PDCAサイクルのあり方について検討し、PDCAシートや会議内容の見直しを行いました。会議では、活発な情報・意見交換を行うことができました。



身体障がい部会

【目的など】

障がいのある人・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【構成団体】

- ① 廿日市市障害者福祉協会
- ② 大野障害者団体連絡協議会
- ③ 廿日市市障害者団体連絡会
- ④ 視覚障害者の会「椿会」
- ⑤ 全国障害者問題研究会廿日市サークル
- ⑥ 佐伯地区ろうあ協会廿日市支部
- ⑦ 広島ひかり園家族会
- ⑧ 広島ひかり園
- ⑨ 日本頸髄損傷LifeNet
- ⑩ 広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部

【これまでの主な取組】

- ・ おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・ まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺点検
宮島口駅周辺
宮島点検 ※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力、広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備に向け廿日市市担当課と意見交換
JR廿日市駅点検(平成23年度～)
- ・ あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・ “障害者週間” イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

【令和3年度 取組計画】

- ① まち点検(※中止) →大野筏津地区公共施設再編事業・宮島口ロータリー工事の意見交換(定例会での意見交換)
- ② おりづる出前教室(※中止)
- ③ 防災(啓発活動・避難訓練)(※中止)
- ④ “障害者週間”を活用しての啓発活動
- ⑤ 第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進 第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組

【令和3年度 取組報告】

予定していた宮島まちづくり交流センターへのまち点検は新型コロナウイルス感染症の影響のため延期となりましたが、定例会では、市や県の担当課の方に参加いただき、今後予定されている大野筏津地区公共施設再編事業や、宮島口ロータリー工事についての意見交換を行いました。これまでのまち点検でもあがっている課題を踏まえ活発な意見が出ました。

コロナ禍により、例年開催しているおりづる出前講座やあいプラザの避難訓練への参加は中止となりましたが、オンラインを併用し、計画PDCAシートをもとに定例会で地域課題の抽出を行ったり、他の部会(“障害者週間”ワーキングや手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)関連のイベントに参加する等、障がいの啓発に向け取組みました。



まち点検(宮島口旅客ターミナル)での様子

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なってください！サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成22年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるピクス」「レクスポ」など(平成23年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成24年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成25年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成27年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・就労に関する学習(平成28年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成29年度)
- ・学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」(平成30年度)
- ・学習「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」(令和元年度)

【構成団体】

- ①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦おのおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーレ⑨虹の会⑩日本ダウン症協会(はつかいち)⑪あおぞら家族会⑫くさのみ作業所⑬ピクトハウス⑭友和の里⑮アダージョ⑯障害者支援施設原⑰大野ふれあい生活介護事業所⑱あおぞら⑲あうるワークスペース⑳リバティーはつかいち㉑おおの共同作業所

【令和3年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室 「ゆるゆるピクス」(※中止)
- ②事業所見学(オンライン活用)
- ③あいプラザ消防訓練参加(※中止)
- ④障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集
- ⑤学習(成年後見制度について等)
- ⑥情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)(※中止)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和3年度 取組報告】

コロナ禍のため昨年度と同様、中止にした取組もありますが、事業所見学については、事前に「フレンドホームゆうわ」で撮影をさせていただき、定例会にて動画視聴という形で行いました。動画に合わせて職員さんに設備等の説明をしていただきました。実際にみんなで見学に行くことはできませんでしたが、動画視聴後の質疑応答の時間では、様々な質問が上がり、大変有意義な時間となりました。

成年後見制度の学習は、DVD視聴という形で行い、制度の概要から後見人の具体的な役割、手続きの流れ、手続きに必要な書類等について学ぶことができました。オンライン環境の不安定さや時間の都合で、最後まで視聴することができませんでしたが、成年後見制度や障がいのある人の権利擁護について、今後も継続して学習していくためのきっかけになりました。

十分に取組みできなかったこともありますが、コロナ禍でできることを工夫しながら行った1年でした。



定例会の様子



令和元年度 おりづる出前教室
ゆるピクスの様子

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催：廿日市市、共催：はつかいち福祉ねっと)
 - 「障がいがあっても元気でいられる」(平成28年度)
 - 「高次脳機能障害ってどんなこと？」(平成28年度)
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
 - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
 - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
 - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)
 - 「もっと知ってほしい！高次脳機能障害のこと(平成30年度)」
 - 「災害時のこころのケアとトイレ問題(令和元年度)」
 - 「アルコール依存症について(令和2年度)」
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
 - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
 - 温井ダム見学(平成30年度)
 - 蜂が峯公園(令和元年度)



おりづる出前教室(令和元年度)



研修(令和2年度)

【構成団体】

①精神障害者家族会こぶし会②大野精神障害者家族会あいあい③高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会④さくら作業所⑤あいあい作業所⑥友和病院⑦訪問看護ステーションゆうわ⑧訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑨エスペランサ⑩あうるホーム フィーカ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭相談支援事業所エスペランサ⑮さくら相談支援事業所⑯相談支援事業所あおぞら⑰串戸心療クリニック⑱訪問看護ステーション和み⑲あおぞら⑳廿日市記念病院㉑訪問看護ステーションマハロ㉒広島県西部保健所㉓市社会福祉協議会

【令和3年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに関する理解と啓発(※中止)
- ③おりづる出前教室(※中止)
- ④交流企画(※中止)
- ⑤制度の勉強会(※中止)
- ⑥施設見学(※中止)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和3年度 取組報告】

令和3年度もコロナ禍の影響により、おりづる出前教室、交流企画、勉強会、施設見学等は中止となりました。そのような中でも定例会は行い、現地とオンラインとで分散しての開催とし、地域課題について意見交換やそれぞれ団体・事業所の近況報告を行いました。

また、市主催の精神保健福祉講座(「うつ病の基本的理解と支援について」「統合失調症の基本的理解と支援について」)に参加しました。基本的な知識の振り返りを行うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作(手づくり)教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤よしわ・さいき障がい児と親の会「みかん」⑥広島自閉症協会⑦スイミー⑧ちょうちょ⑨きょうだい支援の会SIBLINGS⑩ぷれじゅーる⑪廿日市市難病患者こども会

【令和3年度 取組計画】

休止中→新たな取組について検討

【令和3年度 取組報告】

休止中→新たな取組について検討



～令和2年度までの写真～



主任児童委員さんとの顔合わせの様子



定例会の様子



冬の宮島親子スタンプラリーの様子
(集合写真)



おりづる出前教室の様子



スポーツ吹矢づくり&体験の様子



夏休み工作(手づくり)教室の様子

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②さくら相談支援事業所
- ③市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)
(協力：廿日市市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)
- ・オンラインお話し会(令和2年度)

【令和3年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所一覧・福祉サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信

【令和3年度 取組報告】

はつかいち福祉ねっと通信の発行、事業所一覧・福祉サービスガイドブックの更新、ホームページ等を活用した情報発信を行いました。

事業所一覧は、内容の更新を行い、ホームページにも掲載しました(一覧から各法人・事業所のホームページへ移動できるようリンク)。

福祉サービスガイドブックは、5年ぶりに改訂し、内容もボリュームアップさせています。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

また「ホームページに設けている“視覚障がいのある人向けの情報”というコーナーの存在をあまり知られておらず、視覚障がいのある人への情報が入りにくい」という声を受けて、そのコーナーを周知するためのチラシ作成や配布先の検討を行いました。視覚障がいのある方にご協力いただき、広島県立視覚障害者情報センターのホームページ等に掲載していただくこともできました。

「必要としながら、まだ相談につながっていないという人等に相談につながってもらいたい」という思いで、相談窓口を掲載したチラシの作成にも取り組みました。

福祉ねっとのホームページを活用した情報発信も継続して行い、色々な人にかかりやすい情報が届くよう、少しずつ取組を進めることができました。



わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」に基づき進める施策について、具体的な意見を出し合いながら協議していくことを目的としています。

【これまでの主な取組】

プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、平成30年6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、平成30年7月1日から施行されました。

- ・「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」(平成30年度)
- ・「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」(平成30年度～)
- ・「人権フェスタ2018～障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション～」(平成30年度)



市役所新人職員研修への参加



【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会廿日市支部②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷 LifeNet⑤広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部⑥廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑦友和の里保護者会(通所部)⑧くさのみ福祉会⑨高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑩にじのえき⑪廿日市市手話通訳者連絡協議会⑫市社会福祉協議会⑬市学校教育課

【令和3年度 取組計画】

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深めるための普及に関する取組(学校などでの普及啓発)

【令和3年度 取組報告】

例年開催している新規採用された市の職員を対象とした「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修」については、障がい別会議から5名のみなさんに参加をいただき、グループにわかれての開催となりました。

新型コロナウイルス感染拡大等により、啓発プログラムについては中止となった企画もありましたが、廿日市市社会福祉協議会と合同で、地域の小学校(金剛寺小学校、阿品台西小学校、廿日市小学校、佐方小学校、原小学校)の福祉学習にプロジェクトとして参加をすることができました。

今年度、7月と11月にプロジェクトの会議を開催し、これまで各団体・関係機関で取り組んできた啓発への取組等について情報共有し、今後の啓発活動に向けた意見交換を行いました。

条例のパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/34/37898.html>



就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品の PR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(平成23年度)
 - ②info.表参道での常設販売(平成23年度～令和元年度)
 - ③市役所ロビー・大野文化ゾーン販売開始(平成27年度～)
 - ④ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売(平成30年度～)
 - ⑤はつこいマーケット(宮島口ターミナル)常設販売(令和2年度～)

【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップ あんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭多機能事業所ぱすてる⑮Hanaと花舎⑯リバティーはつかいち⑰あおぞら⑱あうるワークスペース⑲清風会みやじま⑳なずな㉑そらまめ㉒おおの共同作業所㉓障害福祉サービス事業所 pas à pas㉔レント

【令和3年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有
- ②“障害者週間”に向けての取組
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認

【令和3年度 取組報告】

6月はコロナ禍により、ワーキングを行うことができませんでしたが、4月、8月、10月、11月、1月とワーキング定例会を開催し、取組の共有や近況報告を行いました。

新たなカタログ作りに向けて動き始め、まずは一覧表にまとめる作業を行いました。今回は業務も含めたものとし、様々なことをしていることを知らえる一覧表になりました。今後は一覧表をもとにカタログを作成できたらと考えています。

昨年度に行った広島県主催の市町キャンペーン(自主製品販売)を今年度も市役所にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急きょオンラインでの販売に切り替えて行うこととなりました。

新たな受注作業の調整や継続した取組として「商工はつかいちの封入作業」、「市役所からのアンケートのデータ入力」、「市役所ロビーショーケース展示」、「ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売」、「宮島口の旅客ターミナル“はつこいマーケット”」、「“障害者週間”啓発イベントへの参加」などを行いました。



はつこいマーケット
委託販売



ニューヤマザキデイリー
ストアー委託販売



コロナに負けるなキャンペーン
(令和2年度)

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握(平成21年度～)
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中1回)スタート(平成23年度～)
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成25年度)



夏休みワーキングの様子



ワーキングの様子

【構成団体】

- ①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中:くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、にじのえき、さくら作業所、コーヒーショップあんず、ハナミズキ、アダージョ、レント、生活介護事業所原、就労継続支援事業所原、障害者支援施設広島ひかり園やすらぎ・まごころ、あいあい作業所、大野ふれあい生活介護事業所、障害福祉サービス事業所 pas à pas、友和の里通所部、ハートフルあまの、ぱすてる、ぱすてる大野原、ぱすてる大野原クリーニング、Hanaと花舎、リパティールはつかいち、あおぞら、あうるワークスペース、清風会みやじま、なずな、そらまめ、おおの共同作業所、相談支援事業所原、指定一般相談支援事業所広島ひかり園、指定特定相談支援事業所広島ひかり園、障害児相談支援事業所PIECE宮園、指定特定相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっば、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、ライフプランナーKIZUNA、相談支援事業所みんなの手、市外特別支援学校)

【令和3年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年4回)

※夏休み期間中ワーキング(2部構成)

前半:廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半:廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【令和3年度 取組報告】

年4回のワーキングを開催しました。

市内の日中活動系事業所や相談支援事業所、市外特別支援学校(廿日市市在住生徒が在籍)に参加していただく夏休みのワーキングは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため初のオンライン開催となりました。

市内に日中活動系事業所が増えてきており、一般就労も含めた選択肢が増えてきてはいますが、より生徒一人ひとりに合った進路選択となるよう、情報共有や協議を行いながら卒業後の進路調整を行いました。

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
 - 関係者会議、モニター実施(平成21年度)
 - 「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
 - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
 - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)



部会の様子

障がい児支援関係事業所連絡会

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市子育て応援室④市こども課⑤市社会福祉協議会⑥市障害福祉課⑦きらりあ

※障がい児支援関係事業所連絡会：市内障がい児支援関係事業所(児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障がい児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)

【令和3年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイル(「心つなぐサポートファイルひろしま結愛^{ゆい}」)の普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催
- ④教育と福祉の連携についての検討
- ⑤保護者向け学習会の開催

【令和3年度 取組報告】

発達障がいのある人の相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」は、様々な場面で配布することで保護者の相談しやすいタイミングで相談につながるよう、乳幼児健診に来られる保護者や保育園・幼稚園・小中学校の保護者等への配布を継続しました。

令和2年度に改訂されたサポートファイルの普及・啓発の取組として、児童発達支援・放課後等デイサービス・障害児相談支援事業所の職員等を対象に2回開催した学習会(講師：広島県手をつなぐ育成会 徳永玲子さん、藪木三恵さん、郡司香代さん)では、サポートファイルの内容・活用方法等について学んだり、グループワークで意見交換をしたりし、今後、改めて普及を進めていくための一歩となりました。

情報交換や支援者の質の向上等を目的とし、年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会(対象：児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)は、オンラインも活用して2回開催(1回中止)し、行政報告と研修(※)を行いました。

教育と福祉の連携を進めるためのツールとして発達障がいのハンドブック作成にも取り組みました。

※研修内容

「放課後等デイサービスに期待すること」

講師：たなべ小児科 医師 田邊道子先生

「広島県発達障害者支援センターの取り組み」

講師：広島県発達障害者支援センター 地域支援マネージャー 吉元一峰さん

医療的ケア児(者)部会

【目的など】

医療的ケア児(者)の地域の現状や課題を把握・検討するとともに、関係者会議等の開催を通して地域で支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の連携を図ることを目的としています。

【構成団体】

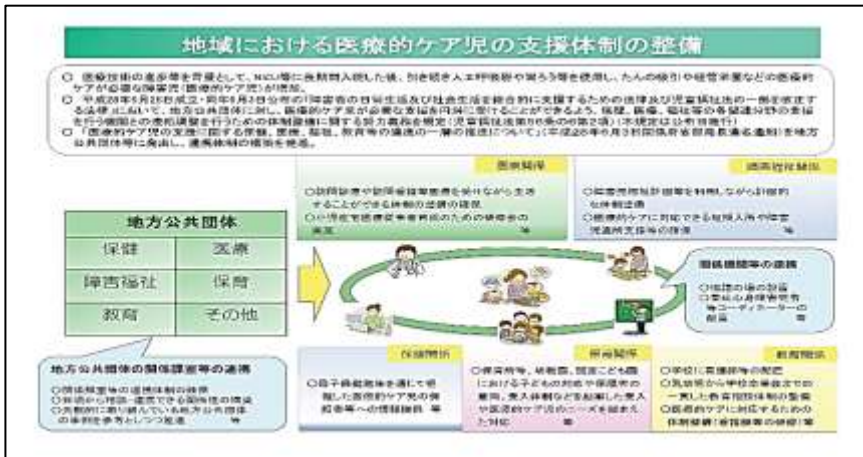
①市障害福祉課②相談支援事業所あおぞら③指定特定相談支援事業所友和の里④きらりあ(②③からは医療的ケア児等コーディネーターが参加)
 ※関係者会議：うるおい訪問看護ステーション、ハートフルステーションあまの、佐伯地区医師会訪問看護ステーション、訪問介護事業所なる、JA広島総合病院、大野浦病院、広島西医療センター、重症児・者福祉医療施設原、児童発達支援センターおひさま、広島西こども発達支援センターくれよん、相談支援事業所あおぞら、指定特定相談支援事業所友和の里、廿日市市特別支援学校、市子育て応援室、市こども課、市学校教育課

【令和3年度 取組計画】

医療的ケア児(者)部会関係者会議の開催

【令和3年度 取組報告】

9月9日(木)に関係者会議を開催し、医療的ケア児(者)に係る情報共有、各関係機関の現状について意見交換等を行いました。
 令和3年6月に公布された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について市より情報提供がありました。また、学習コーナーでは「廿日市市の子育て支援体制づくり」について、市子育て応援室より講義をいただき、最後に関係機関同士の情報共有・意見交換を行いました。
 今後の取組として、医療的ケア児・者の方が活用できる資料やパンフレットの作成等について検討をしました。



厚生労働省資料「医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実に向けて」より抜粋(平成30年10月3日)

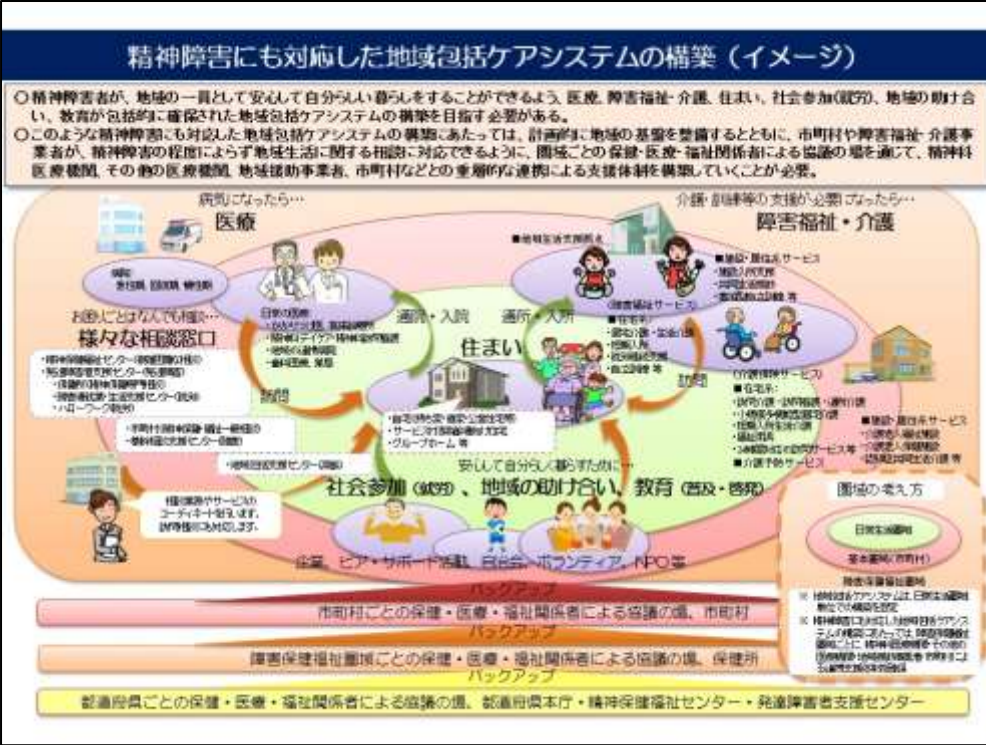


関係者会議の様子

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング

【目的など】
 精神障がいのある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築について協議することを目的としています。

【構成団体】
 ①廿日市市五師士会②さくら相談支援事業所③広島県西部保健所④市社会福祉協議会⑤市障害福祉課⑥きりりあ



【令和3年度 取組計画】
 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの体制整備に関する情報共有

【令和3年度 取組報告】
 令和3年度は、構成メンバーそれぞれから感じる地域課題や、既存の社会資源の発掘、上手くいっている支援などを共有し、個々人の頑張りではなくシステムとして機能するためにはどのようにしていったらよいか話し合いました。
 会議を進めていく中で、「家族支援を今後どのようにしていけばよいのか」という話題が出ました。地域では精神障がいのある方の家族会が少なくなってきているのが現状ですが、家族の相談や互いに思いを言える場がどのようにあったらよいかを把握する必要があると感じ、関係機関等にアンケートを行い、ヒアリングを行うこととしました。
 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムに関連した研修に参加をし、報告と共有を行いました。

地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的にしています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【構成団体】

- ①さくら相談支援事業所②あうるワークスペース③はつかいち福祉ねっと有志
- ④市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成25年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成25年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成26年度～)
- ・カローリング交流会(平成26年度～令和元年度中止)
- ・クルージング(協力:JR西日本フェリー)企画(平成27年度～)
※平成25～26年度は事務局主催、令和2年度は中止
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」(平成28年度～平成30年度)

【令和3年度 取組計画】

- ①ななうら丸 de クルージング(※中止)
- ②カローリング交流会(※中止)

【令和3年度 取組報告】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き、残念ながらクルージング企画、カローリング交流会については中止にさせていただきました。
約2年ぶりに開催したワーキングでは、コロナ禍における余暇活動の現状の共有や、令和4年度に向けた取組の検討を行いました。

放課後長期休暇ワーキング(平成20～24年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成20、21年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成22～24年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成23年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成20～24年度)



令和元年度 カローリング交流会の様子



令和元年度 ななうら丸 de クルージングの様子

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成26年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアヘルパーや支援者がしていること、してはいけないこと」(平成27年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成28年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・介護技術向上研修(平成28、29、30年度)
- ・救命講習(平成24、25、27、28、29、30年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・腰痛予防研修(令和元年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)



強度行動障害支援者養成研修参加時の様子

【構成団体】

- ① ヘルパーステーションふれあい
- ② 訪問介護事業所第2清鈴園
- ③ あうる介護サービスセンター
- ④ ニチケアセンター廿日市
- ⑤ ニチケアセンター広島宮内
- ⑥ サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市
- ⑦ ヘルパーステーションケーアイ
- ⑧ 土谷ヘルパーステーション阿品
- ⑨ オムエルヘルパーステーション
- ⑩ もみじケア訪問介護事業所
- ⑪ (株)アッシュ
- ⑫ 生協ひろしま介護サービス・廿日市
- ⑬ 廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター
- ⑭ エコール在宅介護ステーション廿日市
- ⑮ 訪問介護事業所なな
- ⑯ ヘルパーステーション光風
- ⑰ 訪問介護事業希生
- ⑱ 訪問介護事業所リーズン

【令和3年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習(※中止)
- ・制度学習会
- ・強度行動支援者養成研修への参加

【令和3年度 取組報告】

新型コロナの感染拡大により、例年行っている救命講習や介護技術関連の研修は中止となりましたが、10月に「強度行動支援者養成研修(基礎・実践)」を廿日市内で開催することになり、連絡会に所属する希望事業所のヘルパーさんが参加しました。研修主催を公益財団法人介護労働安定センターに依頼しました(講師:広島県発達障害者支援センター西村浩二センター長、発達障害者サポートセンター未来図の木村博文施設長)。

定例会ではオンラインも活用しながら、コロナ禍における支援の現状を共有する他、12月には障害福祉サービスや制度についての勉強会を行いました。

また、権利擁護ワーキングとの共催で、虐待防止研修(動画配信)(講師:河口市社会福祉士事務所 河口幸貴さん)を開催しました。

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

障がいのある人や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っていきます。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・防災に関するアンケートを当事者団体や事業所の協力を得ながら実施し集約する。
- ・研修「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・障がい別会議合同消防訓練(あいプラザ)(平成27年度～)
- ・レッドゾーンにお住いの障がいのある方への個別訪問(令和元年度～)
- ・「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」の開催(令和元年度～)
- ・地域生活支援システム緊急時連絡票の様式に、災害時に関する項目を追加(令和元年度～)



会議の様子

【構成団体】

- ①市危機管理課②市福祉総務課③市地域政策課④市障害福祉課⑤市社会福祉協議会⑥きらりあ

【令和3年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)(※中止)
- ②障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討

【令和3年度 取組報告】

毎年恒例となっている「あいプラザ消防訓練」への障がい別会議からの参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

プロジェクトの構成メンバーとして、自主防災活動の助言・指導を担当している市地域政策課にも今年度から新たに加わっていただきました。

7月、台風シーズンが到来する前に、佐伯地域のレッドゾーンにお住いの障がいのある人(福祉サービスを利用されていない人)のお宅をプロジェクトのメンバーで訪問し、早目の避難について呼びかけました。

また、9月には日中活動系事業所のみなさんを対象に「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」を開催。参加された(11法人14人)みなさんと、昨年度に各事業所へ行ったアンケート結果や市が行っている災害時の避難支援に関する情報共有、各事業所での取組状況に関する意見交換を行いました。

構成メンバーそれぞれの今年度の取組について情報共有し、来年度に向けての取組について協議するため、3月に防災プロジェクトを開催し、協議しました。

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②視覚障害者の会「椿会」③佐伯地区ろうあ協会廿日市支部④日本頸髄損傷LifeNet⑤友和の里保護者会(通所部)⑥高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑦広島ひかり園⑧くさのみ作業所⑨さくら作業所⑩友和病院⑪エスペランサ⑫相談支援事業所いっぽ⑬相談支援事業所エスペランサ⑭相談支援事業所あおぞら⑮あうる介護サービスセンター⑯もみじケア訪問介護事業所(参加事業者調整会議:21法人)

【これまでの主な取組】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)

【令和3年度 取組計画】

- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②参加事業者調整会議の開催
- ③他市町からの情報収集

【令和3年度 取組報告】

参加事業者調整会議を開催し、廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業の進捗状況や、報酬改定に伴い事務局で整理した事務手続きの流れ、他市情報等について共有しました。架空事例を用いた緊急時のシミュレーション(「緊急事態発生から1~2日、どのような対応ができるか」「緊急時に備えて平素からどのような取組ができるか」等)も行い、緊急時の対応を想定しながら必要な支援内容や課題等を検討することができました。

その後、プロジェクトを開催し、障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた体制整備として、国が示す5つの機能(相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり)の充実に向けた検討を行いました。

また、今後の取組の参考とするため、相談支援事業所を対象とした「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業登録予定(対象)人数アンケート」を実施し、登録予定(対象)人数や登録を進めるにあたっての課題等を把握しました。



緊急時受入等事業の概念図

緊急時連絡票(兼)登録申請書



プロジェクトの様子



参加事業者調整会議の様子

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・事業所紹介(平成24年度～)
- ・Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・事例報告(平成29年度～)

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫ライフプランナーKIZUNA⑬障がい児(者)相談支援事業所みんなの手⑭一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑮アマノリハビリテーション病院⑯生協ひろしま居宅介護事業所・廿日市⑰多機能事業所ぱすてる⑱スプリングコート⑲ウィルサポキッズ廿日市SSTs・ウィルサポキャンパス廿日市⑳Raiz廿日市㉑エスペランサ㉒児童デイサービスねっ子㉓広島学びのサポートセンター

【令和3年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
 - ・各種情報共有
 - ・「学習コーナー(定例会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - ・事業所間の情報共有
 - ・「事例報告(定例会内)」
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
 - 部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

【令和3年度 取組報告】

今年度もオンラインを活用し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携等を行いました。学習としては、NPO法人障害年金ヘルプデスクの社会保険労務士山下千絵さんより「障害年金について」、廿日市市社会福祉協議会地域福祉課より「成年後見制度について」、市福祉総務課より「廿日市市の包括的支援体制づくり」について講義をいただきました。

コロナ禍における相談支援の現状についてはオンラインも活用しながら意見交換を行いました。感染拡大の影響により事業所見学ツアーの企画開催はできませんでしたが、福祉サービス事業所の担当者の方にお越しいただき、部会内で「事業所説明コーナー」として情報共有を行いました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

・研修

- 「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」(平成23年度)
 - 「部会内研修事例におけるスーパービジョン」(平成24年度)
 - 「自己評価について」「みんなで学ぼう！！成年後見制度のいろは」(平成25年度)
 - 「障害者虐待防止—起こさないために&起こってしまったら—私たちにできること」「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(平成24年度)
 - 「成年後見制度講演会」「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」
 - 「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(平成25年度)
 - 「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から」「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」(平成26年度)
 - 「障害者差別解消法が目指すもの」(平成27年度)
 - 「障害者差別解消法ってなに？～法律の概要と活用のポイント～」
 - 「障害者の権利擁護について～障害者の虐待防止～」(平成28年度)
 - 「私らしく自己決定」「障害者差別解消法と地域協議会について」(平成29年度)
 - 「不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供～権利条約の示したもの～」(平成30年度)
 - 「意思決定支援のきほんの“き、”」(令和元年度)
 - 「意思決定支援のきほんの“ほ、”」(令和2年度)
- ・合理的配慮好事例の収集(平成30年度～令和2年度)

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部③障害者施設・原家族会④虹の会⑤おのおの手をつなぐ育成会⑥相談支援事業所あおぞら⑦スイミー⑧さくら作業所⑨エスペランサ⑩サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑪くさのみ作業所⑫広島西医療センター⑬市社会福祉協議会

【令和3年度 取組計画】

- ・研修会開催(はつかいち福祉ねっとのみなさん対象)
- ・合理的配慮好事例の収集(廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会への報告)

【令和3年度 取組報告】

前年度に引き続き、障がい理解の啓発を目的とし、各障がい別会議で合理的配慮好事例の収集にも取り組みました。また、これまで収集した事例を参考とし作成したパンフレット(タイトル「障害者差別解消法 合理的配慮等のポイント」)の配布をスタートさせました(配布先:地域の関係機関等)。

研修会としては、3月に「意思決定支援のきほんの“ん”」(講師:社会福祉法人大乗福祉会 森木聡人さん)をオンラインで開催しました。また、訪問介護事業所連絡会との共催で、虐待防止研修(動画配信)(講師:河口社会福祉士事務所 河口幸貴さん)を行いました。



研修会の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために“障害者週間”に啓発活動を行います。



はつかいち・みやじま情報センター（宮島口旅客ターミナル）にて啓発展示



廿日市市役所ロビーにて障がい福祉サービス事業所製品販売



ゆめタウンはつかいち3階フードコートにて手話の体験教室、啓発展示

【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会④高次脳機能障害家族会「シェイキング・ハンズ」廿日市地区会⑤廿日市市障害者福祉協会⑥広島ひかり園⑦なずな⑧コーヒーショップあんず⑨あおぞら⑩あうるワークスペース⑪大野ふれあい生活介護事業所⑫廿日市記念病院

【令和3年度 取組計画】

① “障害者週間”での取組、啓発活動
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【令和3年度 取組報告】

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ゆめタウン廿日市での“障害者週間”イベントは規模縮小で計画をしました。ワーキングの会議で「それでも啓発を含めた販売はどうにかして行うことができないものだろうか」という意見もあり、啓発を含めた販売は、市役所のロビーにて11月26日(金)に行うこととしました。

令和3年4月に“発達障害啓発週間”ワーキングが、宮島口旅客ターミナルにある、はつかいち・みやじま情報センターにて展示を行った経緯もあり、“障害者週間”ワーキングでも展示による啓発を行いました。宮島口ということもあり、地元の方だけでなく、観光に訪れた各地域の方にも展示をみてもらうことができました。

ゆめタウン廿日市の協力により、今年度はフードコート前にて展示と手話の体験教室を行うことができました。昨年は新型コロナウイルス感染症が急激に拡大したこともあり、体験コーナーを急ぎょ中止としましたが、今年度は感染防止対策をしながら行うことができました。フードコート前ということで、食事の前後に展示を見られる方がおられました。




学習・啓発部会 “発達障害啓発週間” ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。


【これまでの主な取組】

- ・新宮中央公園でのブルーライトアップ(平成30年度～)
- ・はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～(令和元年度～)
※令和2年度は中止

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②廿日市市障害者福祉協会③廿日市特別支援学校PTA④広島ひかり園⑤大野ふれあい生活介護事業所⑥あおぞら⑦あうるワークスペース⑧こどもひろばういず⑨放課後等デイサービスつなぐ⑩art201

【令和3年度 取組計画】

- ① “発達障害啓発週間” (世界自閉症啓発デー)での啓発活動
→ライト it up ブルー広島 in 廿日市市
→第2回はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～

【令和3年度 取組報告】

発達障害啓発イベント(「ライト it up ブルー広島 in 廿日市市」(ブルーライトアップ(※))「第2回はつかいち I(あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」)を開催しました。

「第2回はつかいち I(あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」は、感染予防対策を講じた上で、新たに、はつかいち・みやじま情報センターを会場に加えて開催しました。はつかいち・みやじま情報センターは小さな会場ですが、他会場の展示作品や様子をモニターに映し、いすに座って過ごしていただけるような工夫も行い、観光客の方等、多くの人に障がいのある人たちの作品、啓発ポスターをみていただくことができました。

そして「直接会場に行くことができなかった人たちにもイベントの様子をみてもらいたい」という思いで、イベント開催後、はつかいち福祉ねっとのホームページに、イベントの様子を映した写真や作品等を公開しました。

令和4年度“発達障害啓発”イベントの開催に向けた準備も行いました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。



ブルーライトアップ(桜の木)



手づくり横断幕・啓発ポスター掲示



山崎本社みんなのあいプラザ



市民ホール(はつかいち図書館前)



はつかいち美術ギャラリー

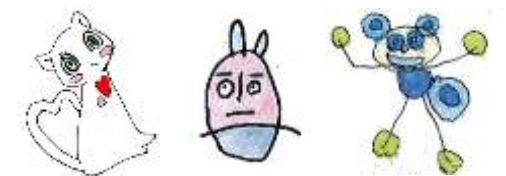


はつかいち・みやじま情報センター

「はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」の様子



Tシャツ(ワーキングで作成)



シンボルキャラクター